

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成28年12月14日（水）

午後 1時30分 開会

午後 2時00分 閉会

場所 : 全員協議会室

[報告案件]

1 第2次半田市食育推進計画（案）のパブリックコメントについて

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

質疑なし

[その他]

・半田赤レンガ建物駐車場等整備工事について

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

中川健一議員：今の説明ですと妨げにならないという説明でしたが、資料を見ると一部削られるわけですし、万が一、再検討の結果この場所が病院になった場合には、外付けしようとしている道路自体が妥当かどうか当然見直しの対象になると思います。そういう意味で考えるとこの工事を再検討することがわかっていて行うのはあまりにも時期をみていないというか、やり方がまずいのではないかと思います。これはやはり結論が出るまでは保留するほうがいいのではないかと思います。その辺はいかがですか。

笠井厚伸市民経済部長：私どももそういったご意見があろうかということも踏まえて検討させていただいております。実際に道路の付け替え工事にあたりましては一部かかるわけですが、この部分については、仮にここが建設用地となった場合には建物の設計をする際には、その辺を配慮することで影響がないものができるであろうと。非常に面積も少ないのでできるであろうという判断と逆にその部分の工事のし直しをしてもそれほど大きな費用はかからないだろうということとで着工するということを判断させていただきました。また今回この工事にあたりましては国の交付金を活用しますので今、中止をするということになりますとその交付金はいただけないことになりますので、既に一部使用して設計等に入っておりますのでその分の返還も生じるということがありますので、今回着手したいということでございます。

中川健一議員：やり直しにそんなに費用がかからないだろうという予想ということですが、万が一やり直しをした場合にどれくらいの費用でやり直しができると考えているのでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：これについては具体的にどういう形で道路整備がされるのか、仮にここに病院が建った場合に進入路をどう作っていくのかということにもかかってくると思いますが、その辺の試算ができませんので今ここでどれくらいの費用がかかるということは正確には申し上げられません。

中川健一議員：一度説明を受けているかもしれませんが、この事業の総工費はいくらぐらいですか。

笠井厚伸市民経済部長：契約金額は 42,984 千円でございます。

新美保博議員：結局のところこの黒い部分はどうなるのか。

笠井厚伸市民経済部長：これはあくまでも仮定の話ですが、仮にここが建設予定地となつて再考する会の方からご提案いただいた位置にこのような形で病院を建設したとすれば黒く塗られた部分が一部かかりますので、そういった場合は改めて道路の付け替え工事が必要になってくるであろうと思いますが実際に工事をする際には病院の形や位置についてもこの通りとは限りませんのでその時になってみないとどの程度の影響があるかは今の段階では申し上げられないということで、先ほどお答えした通りであります。

新美保博議員：答えが答えになっていないから聞いている。例えば病院を再考してこの位置に建てることに決定したらこの道路はどのように動くのか。動かすことができるのか。

笠井厚伸市民経済部長：移設は可能だと思っています。

新美保博議員：ではなぜここに道路を作るという説明のときに車の視認性の悪さを解消するからここへ作ると言った。どのように解消するのか。そうすると道路が要するに赤レンガに沿って入り込むしかない。ということは今よりも視認性が悪いということではないのか。視認性が悪いからここに持って行って、例えば仮定でアウトラインができたときに道路を動かすという。そんなことが仮定で通るわけがない。そのためにまた余分なお金をかけなければいけない。先ほどの話ではお金をかけなければいけないと言ったら「もう設計に入っています。交付金をもらうために設計に入っているので着手したい。」ではこの病院は、ここには道路ができていて動かすことはできるかもしれないけれど、もったいないからこの位置を変えましょうということにならないとも限らない。そういうことがあるとするならなぜ今あわててこれをやらなければいけないのか、その理由が全然見つからない。

笠井厚伸市民経済部長：今回のこの工事ですが、以前から半田病院の建設候補地としては考えておりませんでしたので、あくまでも赤レンガ建物の利用者の利便を考えての駐車場等の整備工事ということで進めてまいりました。そういった部分で視認性の悪さというのは今までの進入路は赤レンガ建物に近いところにありまして出入りをする際に国道に出るときの右側、踏切のほうからくる車が非常に見えにくいと、ちょうど赤レンガ建物の南側に大きな擁壁が建っておりまして非常に見通しが悪いということがありましたので、それを少し東側に振りたいということでこのような絵が描かれております。それは赤レンガ建物の利用者の利便を図るためには必要であろうということと赤レンガ建物の入り口部分の手前に広場を設けることによってイベントをする時にいろいろな可能性が生まれるということで今回このような工事を予定していたものであります。既にこれにつきましては今年度着手するということで議会の承認もいただきながら予算をとり工事を進めてきました。既に設計も終えたという状況でございます。

新美保博議員：状況が変わった訳です。それでは市長はこの道路を作ることすら知

らずに、こうなることも知らずに再考しますと言ったということか。ということになるが。こんな無責任なことはないだろう。

榊原純夫市長：この部分が確かにかかるということになっていますが、あり方を考える会の方については、非常にアバウトな線しかひかれていませんのでここは特に実際にここを使うことになって十分クリアができると判断したものであります。

新美保博議員：どこが十分クリアできるのか教えてください。何がクリアできるのか。

榊原純夫市長：要はまだアバウトな線をひいただけですので、ここに具体的にどのような建物を建てるか示されておりません。ですから今後もしここに作ると仮定した場合でもその辺を十分クリアできる面積でしかないと判断いたしました。

新美保博議員：ではこのラインは誰が書いたのか。これがもっと赤レンガに寄っていくとした時にこの道路はどのようなになるのか。3つのパターンがある。このままの位置で作る。これよりももっと小さく作る。小さくすれば作ってもこの道路は生きてくる。仮にこれより大きくなればこの道路は使えない。もし大きく、また今のままで作った場合もこの道路は動かさなければいけない。なぜこの道路を作ったか、最初に言ったがここに壁があって視認性が悪いから左にふったということは、もう必ずこの道路の位置は確保しなければ出入口の視認性が悪いということ。再考する会の方の位置はここでは駄目だからこの横、少なくともここからこの線で位置を考えなければいけない。今の広さが欲しければこの部分を縮めるならこれが横に動いていかなければいけない。そういう説明、そういう計画を立てなければ駄目だ。なぜこんなダブった絵を描いて説明するのか。進入路ができたから病院は建てることはできませんという理由にはならない。

笠井厚伸市民経済部長：私どもが今回お出ししたのは、あくまでもあり方を再考する会の方からご提案いただいたアバウトと言っては失礼ですが、位置図を用いて仮にそこに建てた場合には今回の工事が影響しますということをお示したものであります。実際には仮にここに病院を建てるとなれば今回整備する道路も含めて建てる位置や面積、高さが考慮されるものと考えておりますので半田病院の移転先の検討には大きな影響はないだろうということで工事をさせていただきたいということでご報告をさせていただいたものであります。

新美保博議員：最初の話と変わってきた。検討するためにこのラインを書いた。だけどこの黒い部分がダブります。もしダブったらこの道路は動かしますと言った。

笠井厚伸市民経済部長：少し誤解があるようですので改めてご説明をさせていただきますが、今回は赤レンガ建物の視認性が悪いことから東へ進入路をずらすという今回の整備を行います。このずらすことによってあり方を再考する会の方が仮に置かれた線にどれだけ影響があるかということ踏まえてご説明をさせていただいたつもりです。病院の建設時には当然基本計画あるいは実施設計を行っていきますのでその時には現状の道路でいいのか、東にずらした道路のままでいいのか、さらには動かす必要があるのか検討はされるはずですので、その時にはそうならないとわからないということで現状ではどういう費用がかかるかということはお答えできないというふうにお答えしたつもりです。

新美保博議員：説明が悪すぎる。だったらこの病院の枠は再考する会がだした枠です。ただし視認性のためにこの道路は生かさなければいけないから、これに影響のないところで検討しますと。この道路ができてしまったからこの枠はとれません。イコール病院はできません。ではないという答えではなくてこの道路にかからないようにそれでもできる病院を検討していきますというのが答えだ。そうしなければ嘘だ。要はこの道路は動かせない。でも部長は動かすと言った。これがもし仮に通った時に…。

笠井厚伸市民経済部長：私どもは動かせる動かせないということも含めて、仮にここに病院を建てるのであれば、どこに進入路を設けたらいいのか、どこに設けることが適切かということ判断をする必要があると思いますので、それはその時に考えることだと思っています。ですから今ここに仮に進入路を作ったからと言ってその進入路を絶対守るということも考えておりませんし、またそういうものではないと理解しております。

新美保博議員：恐ろしいことを言うね。ここはただでできるわけではない。費用をかけて道路を作るんだ。簡単に言える話ではない。ここに何も作らないならそれはそれでいいが、だけどひょっとしたらここに作るかもしれないということでラインを描いているのだから、ダブるかもしれないと黒い部分ができている。ではこの部分をどうするのかということを知っている。そうしたら道路を動かすと言った。それも一つの考えだが、道路を動かすということは費用を二重も三重もかけなければいけない、壊して直さなければいけない。だったらこの枠は再考する会ですがこの道路は生かして、その余った土地で病院を建てるように検討します。と言ってくれば、先のことからわからないから検討するんだと理解できる。

榊原純夫市長：いずれにしても現在のところは視認性が悪くて、仮にここに病院を作るとしてもあの場所から救急車の出入りはかなり危険があり難しいと思います。今回お示しをさせていただいた場所から仮に黒く塗ってあるところまでいろんな設計をして病院がいっぱい作られるとしても入口から少しアールを描いて例えばもう少し手前からきゅっと曲がるようなことも考えられると思いますし、もしかするともう少し北にずらして建てることも可能になってくると思いますので、そういったことは十分新美議員とおっしゃっていることと私どもが思っていることは一緒だと思っています。

中川健一議員：2点だけ確認ですが、この事業費42,984千円のうちの市税以外の補助金などはいくらぐらいでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：うち10分の4が交付金でございます。

中川健一議員：例えばクラシティの3階を子育て支援センターをやめて民間に売却をすべきだと議論したときに売却できない理由として補助金をもらっているという理由がありましたが、ここの道路は国の補助金をもらって作っても病院をここに万が一建てることになったときに一から見直したらここの道路を全部廃止するということは全く問題ないということでもいいでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：その時には交付金を返還する必要があると考えています。

中川健一議員：どちらにしても3月末くらいまでには一定の結論がでるのか、スケジュールが正確にわかりませんが、そんなに遠くない未来には決まると思うので、

例えば半年とか一年間、先送りしてもいいのではないかと思います、それができない理由はありますか。

笠井厚伸市民経済部長：実は繰越しができないかどうかという理由も検討いたしましたが、なかなかその理由がみつからない。要は半田市の都合で工事を延ばすことは補助金をいただく以上は非常に難しい、理由がたたないという判断です。

加藤美幸議員：道路の見通しが悪いということですが、ブロック塀が薄いコンクリートの塀が建っていますが、耐震などは大丈夫でしょうか。例えば見通しが悪いのであれば、違うフェンスにするとかそういうことはお考えではないですか。

笠井厚伸市民経済部長：その耐震については、手元に資料がございませんので正確に申し上げられません。

・知多南部広域環境センター建設予定地の土壌調査等の結果及び対応について（続報）

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

質疑なし